

平成29年度
教育に関する事務の管理及び
執行状況の点検評価報告書

平成31年2月
湯沢町教育委員会

教育事務、事業の点検・評価

平成 28 年 4 月に保小中一貫教育が本格スタートして 2 年目を迎えました。
教育委員会、認定こども園、小学校、中学校の連携を深め、家庭、地域と協働して、保小中の連続性のある教育体制の構築を図ってまいりました。

平成 29 年度における決算額は、児童福祉費 231,641 千円、教育費 336,554 千円となり町決算額に占める割合は 8.8%でした。

児童福祉費の内訳としては子育て総合支援費に 12,122 千円、児童クラブ費に 7,310 千円、認定こども園の運営管理費として 103,643 千円、児童手当費 97,469 千円などとなっています。

教育費の内訳としては、学校関係では奨学金等就学奨励費 25,772 千円、小学校・中学校にかかる費用として学園管理費 125,371 千円、学園振興費 20,425 千円、学校給食事業費 81,377 千円となっています。社会教育関係は、公民館費 37,472 千円、うち全国童画展事業費 3,527 千円で、文化財保護費 14,505 千円のうち雪国館の指定管理料として湯沢町観光協会へ 9,000 千円、生涯スポーツ推進費 16,104 千円のうち湯沢町総合型地域スポーツクラブ「ユースポ」へ町の体育事業のため 8,845 千円を補助しています。

1 教育委員会

(1) 教育委員

平成 29 年 4 月から教育委員会の構成は新教育長制度となり、教育長、教育長職務代理者、委員 3 名の構成となりました。

教育委員長と教育長を一本化し、教育長が第一義的な責任者であることが明確化され、任期が 3 年となりました。また、町長が直接教育長を任命することにより、任命責任が明確化されました。

(2) 教育委員会事務局

教育委員会事務局では、子育て教育部長、管理指導主事嘱託員 1 名を配置し、教育課、子育て支援課、認定こども園それぞれ独自施策・課題の対応を進めました。

ア 教育課 学校教育係

教育課学校教育係は、主に小中学校に関する運営及び施設の維持管理及び奨学金や就学援助等に関する事務を行っております。

課及び係の体制は、部長が課長を兼務し、係長 1 名、主事 1 名、事務嘱託員 1 名、校務員は嘱託員を含む 3 名で業務を行いました。

イ 教育課 生涯学習係

生涯学習係は、公民館活動や生涯学習の推進、スポーツ振興、文化財保護等の事務を行っており、参事兼係長1名、主任1名、主事1名、事務嘱託員1名で業務を行いました。

ウ 子育て支援課

子育て支援課は、認定こども園、児童クラブ等の事務を行っており、町長部局から事務委任されています。また、子育て支援関連業務について総合的に対応する体制を構築しています。

課の構成は、課長1名、参事兼係長1名、保健師1名、保育士1名、嘱託社会教育指導員1名で業務を行いました。

エ 認定こども園

認定こども園は、園長1名、副園長2名、指導保育士2名、保育士14名、調理員4名と嘱託管理栄養士1名、臨時事務補助員1名、臨時保育士17名、臨時調理員2名で業務を行いました。

2 各課・係の点検

(1) 教育課 学校教育係関連

ア 湯沢学園

認定こども園が開園して保小中一貫教育が本格スタートして2年目を迎え、園児、児童、生徒と一緒に活動する機会が増えました。合同避難訓練や春秋の8・9年生との花植え、1年生との年長児交流のほか、こども園運動会で1.2年生が応援したり、児童生徒会主催の「あおぞらまつり」では年長児を招待して開催したりしました。また、継続して「湯沢っ子絆活動」や三俣祭りへの3年生参加など地域に積極的に向き、開かれた学校として活動しました。秋桜ハーフマラソンには、ランナー、運営・応援ボランティアとして児童生徒約250名が参加しました。また、新潟県自治会館で開催された「夢創造、ナビゲーションサミット」に9年生が参加し、キャリア教育の取組を紹介したあと、湯沢町やその未来について町長と意見交換しました。キャリア教育の充実に努めてきた積み重ねにより、平成30年1月11日に文部科学大臣より湯沢町教育委員会が表彰されました。

「第5回教育フェスティバル」では、小学校学習発表会、中学校合唱コンクールとも素晴らしい出来栄で、小学校は年々発表内容に工夫がみられるようになりました。

施設等の整備関係では、第1グラウンド防球ネット工事、北側駐車場整備工事、テニスコート補修工事等を実施しました。

イ コミュニティ・スクール

コミュニティ・スクール制度を取り入れて4年目を迎え、前年度に引き続き、学校運営協議会について保護者や地域に理解・協力を得るため、地区PTAなどで主旨や内容の周知に取り組みました。当初より推進している「あいさつ運動」は、地域に輪を広げるように取り組みました。また、教育フェスティバル第1部では、学校運営協議会主催で「『オール湯沢で育む子ども』今、私にできること」というテーマでパネルディスカッションを行いました。

ウ 学力・学習状況

全国学力・学習状況調査等の結果では良い年度が続くことも見られるようになってきましたが、ばらつきもあり、学力向上は引き続いての課題です。

学校生活において「自己肯定感」が低いことも学力向上の課題となってきましたが、改善の兆しも見られます。メディアと接する時間を減らして家庭学習の時間を確保していくことと併せて、さらに改善を図っていきたいと考えています。

エ 体力の状況

体力的には、全国平均を上回るなど概ね良好な結果が得られていますが、幼少時代からの戸外遊びの減少なども要因となり全国的にも昭和60年頃の数値より劣っているため、スクールバス登校の影響も注視しながら学園生活を通し改善を図っていきます。

オ 特別支援教育

小中学校における特別支援が必要な対象児童生徒が増加しております。そのため、小学校に知的障がい3学級、自閉症・情緒障がい1学級、中学校にもそれぞれ1学級の特別支援学級を設置するほか、通級指導教室（言語通級、発達通級）も設置するなど、制度的な整備をできており、介助員・相談員の確保に努めています。また、総合子育て支援センターにおいて、保小中一貫した支援体制の充実を図ってきました。

カ いじめ・不登校状況

いじめは、小学校で2件、中学校でも1件が報告されましたが、個別指導や学年集会などで指導し、収束に向かいました。

不登校（病気を除く30日以上欠席）については、小学校で5件発生し、中学校でも2件発生しました。小学校の5件のうち、2件は平成29年度中に登校できるようになりましたが、その他は指導を継続しました。

キ マグナ国際交流事業

国際交流事業の姉妹都市生徒受入事業では、生徒7名、引率2名、計9名が7月5日から13日まで湯沢を訪れ、湯沢学園生徒派遣事業では、8年生5名、引率2名、計7名が7月28日から8月10日まで米国ユタ州マグナにてホームステイ、文化交流等の貴重な体験をしてまいりました。

(2) 教育課 生涯学習係関連

ア 公民館事業

湯沢町成人式は、新成人 114 名（湯沢中学校卒業生 87 名）のうち新成人 74 名の参加により開催され、新成人実行委員会主催の第 2 部では「躍進～これからの自分へ～」をテーマに、両親への感謝、湯沢への思い、今後の進路や考えを発表しました。

TOKI 弦楽四重奏団公演を開催し、234 名が観覧しました。また、湯沢中学校生徒が出演した映画上映会が行われ、290 名の方々が観覧しました。講座やサークル等で作った作品や踊り等を披露する場として湯沢町総合文化祭や芸能発表会を実施しました。

イ 公民館講座

平成 29 年度は、継続している講座に加え、新たに「県立歴史博物館出前講座」や「らくらくスマホ」「脳トレ講座」「アロマセラピー」などを実施し、多くの方に参加いただきました。前年に引き続き、中国からの観光客のため、すぐ使える「初級中国語講座」を開催しました。

また、小学生を対象とした「食育講座」や「書道講座」を開催し、楽しみながら学ぶ講座として多くの参加がありました。

ウ 図書室の運営

公民館に設置している図書室には、およそ 18,500 冊蔵書され、年度末で登録者数は 1,914 名（うち学園児童生徒 480 名）で、貸出冊数は約 10,200 冊でした。学園図書室は土曜日と夏季休業期間に一般開放を 70 日実施し、入館者 278 名、貸出冊数 35 冊でした。また、南魚沼市図書館の広域利用者は年々増加しており、累計登録者 581 名、貸出冊数 6,663 冊でした。

エ 地区館事業

平成 29 年度は神立、土樽、湯沢地区の運動会が雨天のため中止になるなど、少ない事業が実施できなかったことは残念でした。各地区館活動を推進し、地域のコミュニティ活動の活性化を図っています。なかなか難しい状況ですが、継続して推進していきます。

オ 全国童画展

全国童画展は 22 回を迎え、今回の応募作品 261 点から入賞入選作品 52 点を選出しました。作品展は、湯沢町公民館、湯沢カルチャーセンター、新潟ふるさと村で開催しました。

童画美術館（仮称）建設について、平成 30 年度に町の方針を決定するために、検討を進めることとしました。

カ 文化財保護

雪国館は、指定管理者制度により湯沢町観光協会が運営しており、様々な企画展、体験事業等を実施して利用者の増加に努めています。講演会・研修会では石川

運蝶バスツアー、池田家コンサート等を開催し延 200 名の参加がありました。

新潟県指定文化財「三国街道脇本陣跡池田家」の町への寄贈について、所有者と調整を進めました。

キ スポーツ振興

スポーツ振興では、総合型地域スポーツクラブ「ユースポ！」に町のスポーツ関係を委託し実施しており、町民スポーツ大会のほかにも各種スポーツ教室を 29 回実施し約 880 名の参加をいただきました。

前年度から不在となっているスキー振興指導員は、今年度も不在となってしまいました。条件面の見直しも検討しながら、引き続き適任者を募集することとしました。

ク 生涯教育

生涯教育の一環として「平成 29 年度社会同和教育市町村巡回研修会」が、平成 29 年 8 月 22 日湯沢町公民館で開催されました。湯沢町、南魚沼市、魚沼市から約 100 名が参加され、同和問題や差別の解消のために、社会同和教育の推進のあり方を学び合いました。

(3) 子育て支援課・認定こども園関連

ア 湯沢認定こども園

開園 2 年目を迎え、保育士、園児とも徐々に環境に慣れてきました。七夕祖父母会、運動会、発表会では多くの保護者や祖父母の方々が来場し、園児の元気に動き回る姿に目を細めておりました。今年度から新たな取組として「父親保育参加」を開始し、多くのお父さんから参加いただきました。開園と同時に、預かり時間を拡充（7 時 30 分から 19 時まで）したり、休日保育（年末年始を除く全ての休日）などの新しいサービスも保育士のシフト対応等の協力で実施できています。引き続きサービスの充実に努めてまいります。

入園児数は未満児の入園率がより一層増加しており、今後もこの傾向は続く見込みで、今後の対応も検討が必要と考えます。

平成 29 年度入園児数（平成 30 年 1 月 1 日現在）

年齢	0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	計
人数	13	21	30	38	43	52	197

イ 放課後児童クラブ

放課後児童クラブは、平成 28 年 4 月から指定管理者制度を導入し、社会福祉法人湯沢町社会福祉協議会による運営となり、預かり時間を 19 時まで拡充したほか、長期休業のみの利用に対応するなどサービスの充実を図りました。

利用者は増加傾向にあり、常時利用者は前年度から 7 名増の 42 人、長期休業の

みの利用が 8 名増の 17 名となり、合計 59 名となりました。利用者増加に伴い、施設面積及び室温対応のために、交流アリーナ棟からこども園棟の渡り廊下の一部を活用できるようにカーテン設置等を実施し、対応しました。

ウ 総合子育て支援センター

総合子育て支援センター（愛称：JumPla.net（ジャンプラネット））は、専任の保健師と保育士が常駐していることで、相談業務等に迅速に対応できるほか、湯沢学園内にあることで、保育士や教職員との情報共有を図ることができ、支援が必要な園児・児童・生徒とその家庭に的確な支援を行いました。

育児講座、親カフェ、ふれあい広場などの事業を実施して、多くの方から参加していただいています。今年度から新たに療育発達支援事業として、年長児対象の小学校生活を想定した体験教室の「のびのび教室」を開始しました。

エ 青少年健全育成、学園支援

青少年健全育成事業は、事務局を学園内の地域交流センターに置き、社会教育指導員を配置しています。青少年育成指導員を中心に「あいさつ運動」や各種行事での巡回や啓発活動、社会環境浄化活動などを実施しました。

学園支援では、通学路の見守りや書道、ダンス、調理実習などの授業のほか、花植えや草取り等も学園ボランティアの協力で実施しました。

オ 子ども・子育て会議

今年度設置した「湯沢町子ども・子育て会議」を開催し、「湯沢町子ども・子育て支援事業計画（平成 27～31 年度）」の中間見直しの審議や今後の子育て施策の方向性などについて意見交換しました。今後の子育て支援施策に役立てていくこととなります。